

Installation Procedure

階段滑り止め

ハイステップ UDタイプ

UDP-50S UDC-50S

施工マニュアル

2021年10月

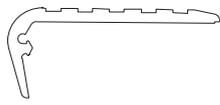
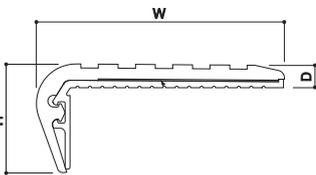
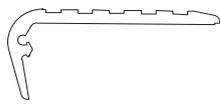
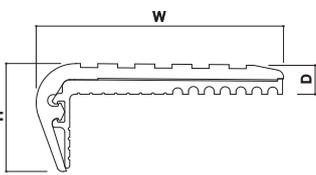
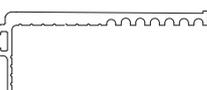
 **ナカ工業株式会社**

目 次

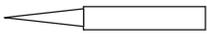
1. 部品一覧	
1-1 製品バリエーション	2
1-2 施工用部品	2
2. 施工工具	3
3. 施工方法	4
3-1 施工基本手順	4
3-2 施工準備	4
3-3 金台下地の状態確認	4
3-4 接着面の清掃	4
3-5 施工手順	5
4. 自主検査	7

1. 部品一覧

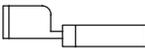
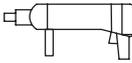
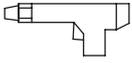
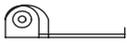
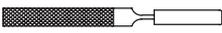
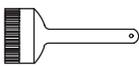
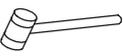
1-1 製品バリエーション

No	品番	部品形状	用途	納まり形状	寸法	
1	UDP-50S *2009年金台 形状変更		長尺シート Pタイル 仕上げ用		W	50
					H	22
					D	4.4
	UDC-50S		タイル カーペット 仕上げ用		W	50
					H	22
					D	5.9

1-2 施工用部品

No	品番	部品図	規格寸法	材質	備考
1	セルフタッパ アンカー Pレスアンカー		呼び4×25 (呼び4×32)	鉄	モルタル下地用
2	ドリルねじ テクス		呼び4×10	鉄	鉄板下地用
3	接着剤 タイルメント MS-300		カートリッジ 320ml	変成シリコーン系	モルタル下地用
4	接着剤 コニシMPX-1		カートリッジ 333ml	変成シリコーン系	鉄板下地用

2. 施工工具

No	名称	工具姿図	用途
1	高速切断機		金台の切断
2	メリーカッター		ビニルタイヤの切断
3	カワタチ		モルタル接着面に付着した固形状の汚れの除去
4	コーキングガン		接着剤の塗布
5	ワイヤーブラシ		モルタル接着面のゴミ、ホコリ等の除去
6	コンクリートドリル		穴明け
7	インパクトドライバー		Pレスアンカーのねじ込み
8	コンベックス		寸法測定
9	ヤスリ		金台すり合わせ
10	ベビーサンダー		金台すり合わせ
11	ハケ、手ぼうき		モルタル接着面のゴミ、ホコリ等の除去
12	延長コード (ドラム)		電源と取付場所の延長コード
13	プラスチックハンマー		ビニールタイヤ圧着工具
14	ウエス		金台の清掃など
15	掃除機		作業場の清掃
16	ラッカーシンナー		金台の清掃など
17	コゲ取り、スコッチブライト		切断時の焼きコゲ除去

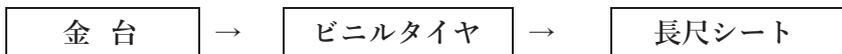
3. 施工方法

3-1 基本の施工順

床仕上げ材（長尺シート、Pタイル、タイルカーペット）別の基本施工順は下記の通りとなります。

UDP-50S

長尺シートの場合



* 金台は長尺シート厚み分のスカシ施工となります。

Pタイルの場合



* Pタイルの蹴込み工事が先にされない場合は、金台の「スカシ施工」となります。

※注意：「スカシ施工」は、Pタイルと金台前たれ間の隙間を必要以上に取ると金台が前にずれ、接着面積が確保出来ず、外れの原因と成ります。隙間は最小限として下さい。

UDC-50S

タイルカーペットの場合



3-2 施工準備

- ① ビニルタイヤ、および金台の寸法、数量並びにカラーの確認を行ってください。
- ② 施工用部品および工具等の品揃えを確認してください。

※注意：Pタイル用、タイルカーペット用については、絶対に仕上材の上から施工しないでください。階段仕上面からの出が高くなりすぎる事により、金台・ビニルタイヤの外れ（剥がれ）、ツマヅキの原因となり危険です。

3-3 金台下地の状態確認

- ① モルタル面が完全乾燥状態である事を確認してください。
(モルタル仕上げ後、最低4週間経過してから施工してください。)

※注意：十分な養生期間がとれていない場合は、金台固定に必要な強度が出ない可能性があるため、ゼネコン監督者と相談してください。

- ② 階段段鼻に破損等がある場合は、ゼネコン側に補修を依頼し完了後、施工してください。

3-4 接着面の清掃

- ① 階段接着面（モルタル表面）の清掃を行った後、施工してください。

3-5 施工手順

① 採寸

階段の幅を実測します。

② 金台切断すり合わせ

階段の幅に合わせて金台を切断します。

※注意：壁と金台取合いに隙間が無い事。1.0mm以下として下さい。
けが防止のためバリは必ず除去して下さい。

③ 下地（モルタル）の穴開け

金台の穴に合わせてコンクリートドリルにて、モルタルに下穴を開けてください。

Pレスアンカー 呼び4×25 下穴径φ3.4 深さ約30mm

Pレスアンカー 呼び4×32 下穴径φ3.4 深さ約35mm

* アンカーの長さはモルタル状態により選定して下さい。

鉄板下地の場合はテクスを使用して下さい。

※注意：モルタル下穴と金台の穴位置がずれないように注意し、穴開けをしてください。

④ 階段及び金台の清掃

穴開け時のモルタルの粉を取り除いてください。

⑤ 接着剤塗布

下地接着面清掃後、接着剤を塗布してください。（50g/m 以上）

⑥ 金台のセット

金台を前後にスライドし、金台全面に接着剤がいきわたるようなじませてセットしてください。

⑦ 金台の固定

施工する下地により適切なアンカーを選び、金台を完全に固定してください。

⑧ 金台の清掃

ビニルタイヤを貼り付ける金台のごみ・ホコリ・付着物等は必ず除去してください。
汚れ具合に応じて、アルコールやラッカー・シンナーなどを使用してください。

⑨ ビニルタイヤの切断

専用カッターを使用し、ビニルタイヤを直角に切断してください。

⑩ビニルタイヤの取付け

ア、ビニルタイヤが折れていないか確認して下さい。

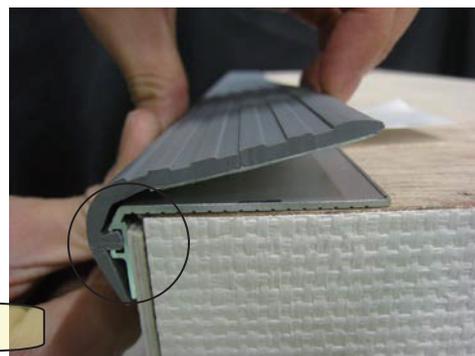
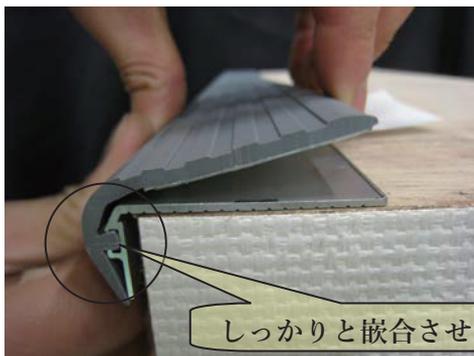
イ、ビニルタイヤ離型紙を部分的にはがし折り返しておきます。



ウ、ビニルタイヤ前垂れ側を金台へしっかりと嵌合します。

スカシ施工の場合（長尺シート）

床仕上材蹴込み先貼りの場合
（Pタイル・Tカーペット）

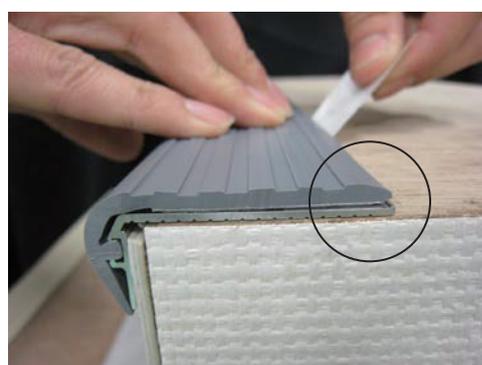
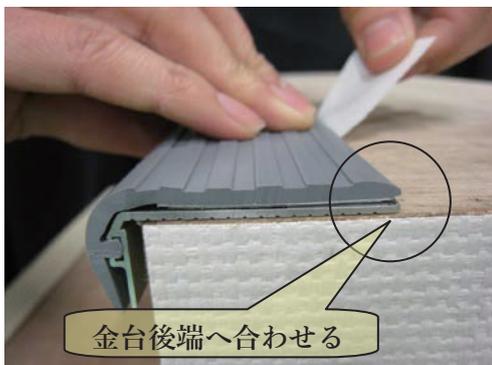


※注意：スカシ施工の場合、嵌合時強く叩くと金台が変形するので注意。

エ、ビニルタイヤ踏面を金台後端に合わせ、貼り合わせます。

※注意：ビニルタイヤがズレてアルミ金台が見えることのないように、抑えながら離型紙を抜いていきます。

※注意：貼り合わせ後、必ず十分な圧着を行ってください。



⑪ 階段の清掃

階段の清掃を十分行なってください。

⑫ 養生

接着剤が硬化するまで、下記の硬化時間を目安に養生期間を設けてください。

◇ 硬化時間の目安（MS-300の場合）

常温（20℃前後）の場合、24時間で硬化し始め72時間（3日）で実用強度に達します。

※注意：接着剤が硬化する前に踏んでしまうと、金台がはがれる恐れがあります。施工後の養生期間は、金台を踏まれないよう張り紙などで表示をして注意を促してください。（階段を通行止めにするのが望ましい。）

【接着剤（MS-300）に関する注意事項】

- ・使用期限内（製造日より1年半以内）のものを使用してください。
- ・火気厳禁ですので、取扱いには充分ご注意ください。
- ・作業中は常時換気を行い、施工後も硬化するまでは通常の換気を行ってください。
- ・施工後の養生期間は充分確保してください。
- ・使用後はカートリッジを確実に密閉し、適切に保管してください。

4. 自主検査

施工完了後、添付の自主検査表に基づき、検査を行い、検査完了後、当社工事担当へ提出してください。

ハイステップ 自主検査表

検印	検印	検印		検査日	
				施工業者	
				検査担当者	印

現場名		検査場所	
ゼネコン名		施工期間	
製品名	ハイステップ : 一般屋内 屋外 公団		

検査項目及び結果

No.	検査項目	是正内容	是正箇所	是正日	確認
01	ビニルタイヤに浮き、剥がれ、傷はないか。			月 日	
02	ビニルタイヤの切り口は直角になっているか、サイドキャップ又はフラットエンドとの間に隙間はないか。			月 日	
03	金台にガタツキはないか。			月 日	
04	金台に切断焦げ、バリはないか。			月 日	
05	金台に接着剤のはみ出しはないか。			月 日	
06	切り粉は完全に除去したか。			月 日	
07	ステンレスアンカーを使用しているか(外部のみ)			月 日	
08	金台がビニルタイヤで均一にカバーされているか(UDタイプのみ)			月 日	
09				月 日	
10				月 日	

〈検査者記事欄〉

〈検査者記事欄〉
